

やってみよう!

第1学年 学年通信 第3号
平成29年10月3日
文責 中森 邦広

LINEなどによるトラブルについて

「グループトークから退会させられ、仲間はずれにされる」「顔写真を掲載される」などの件について指導しました。LINEは、上手に使いえば便利なツールですが、使い方を間違えるとトラブルを引き起こします。また、LINEなどSNS上のトラブルを生徒同士で解決することは大変難しく、保護者や学校が介入しなければ、うまく解決できません。

丹南中学校では、「SNSアンケート」を定期的実施しています。SNS上のトラブルは、発見することが困難ですが、多くの生徒がアンケート用紙に「困った状況」として、トラブルの様子を記入してくれました。そのおかげで、早期発見・解決をすることができました。

「これは、まずい」と気づく力と、教えてくれる実行力のある生徒が多くいることは大変嬉しいことです。しかしながら、SNS上のトラブルは学校では把握できないことが多くあると思います。生徒がSNSを上手に利用して、トラブルにあわないためには、SNSが保護者の監督下にあることが重要です。今回の指導でも、子どものLINEを保護者が自由に見られる状況にある家庭が多いと分かりました。生徒達がもう少し成長するまでは、保護者の責任の下でSNSを使用するようにお願いします。

知っていますか？LINE安心安全ガイド

LINE運営会社が、「LINE安心安全ガイド」のホームページをつくっています。
子どもと一緒にホームページを見て、LINEの安全な使い方と一緒に考えるのもいいですね。
以下に示すのは「LINE安心安全ガイド」の抜粋です。(一部、文章を省略しています)

保護者のみなさんへ

LINEサービス紹介LINE(ライン)は、スマートフォン向けの無料アプリで、アプリをダウンロードしている人同士であれば無料で通話・メールをすることができます。SNSとは違い、誰でも見られる場所につぶやきや日記を投稿するようなサービスではなく、従来の電話やメールと同じようなことができるアプリだと考えてください。つまり、LINEは、家族や友達など、すでに知っている人とのコミュニケーションをするためのアプリです。

○電話帳を利用した友だち登録の仕組みについて

LINEの特徴の1つとして、スマートフォンの電話帳に登録している人の中でLINEを使っている人がいた場合に、LINEの中で「友だち」となり、手軽に連絡を取ることができる仕組みがあります。

○LINE IDとは？

LINEのIDは、ただのニックネームなどとは違います。LINE IDは、メールアドレスなどと同じような重要な個人情報だとお考えください。

○青少年利用者のトラブル事例

- ・見ず知らずの人と連絡を取ってしまい、出会うことで事件や事故などのトラブルに巻き込まれる
- ・個人情報を教えてしまったことによって、自宅に押しかけられたり、いたずら電話がきたり、個人情報を握られてお金を要求される
- ・複数人で一斉にトークをすることができる場所(グループトーク)で、悪口などの誹謗中傷を受ける
- ・グループトークから退会させられ、仲間はずれにされる
- ・トークやタイムラインに顔写真や他人に知られたくないことを掲載されて晒者にされる
- ・迷惑メール業者から送られてくるメッセージに従って会員登録などをし、架空請求される

青少年がトラブルに巻き込まれないために、大人はどうすればよいのでしょうか？

まずは、大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を得ることが肝心です。

○考え方

- ・知識や人生経験が少ない青少年を狙っている危険な人がいることを理解してもらう
- ・少しでも後ろめたい気持ちがあるような事は、しない方が良く伝える
- ・ネットマナーとその重要性について説明する

○使い方

- ・新規登録や設定を一緒に行いながら使い方を教える
- ・知り合いや友だちとのコミュニケーションに限定して利用するように伝える
- ・迷惑メールは無視するように伝える
- ・メッセージに「既読」がついても返事が来ない場合でも、相手の事情を考えて返事の催促などはせず、思いやりをもつことが大切であると伝える

篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について(1年生)

1学期に実施した篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対して支援いただきますようお願い致します。

○国語について	
目標値に達している項目	漢字を読む、漢字を書く、文法・語句に関する知識、説明文の内容を読み取る、話し合いをもとに新聞記事を書く、作文
課題のある項目	話の内容を聞き取る、文学作品を読み取る
対 策	領域別においては、おおむね全国平均と同程度です。問題の内容別で見ると、「話の内容を聞き取る」「文学作品の内容を読み取る」に課題があります。 今後は授業において、聞き取りテストを定期的実施し、聞いた情報を整理し、まとめ、設問に答えるトレーニングを行うほか、積極的に文学作品を取り入れた授業を展開し、文学作品に親しみを持たせて苦手意識をなくし、内容や心情を読み取る練習をしていきます。
○数学について	
目標値に達している項目	単度量あたりの平均
課題のある項目	小数分数の計算、整数の性質、面積と体積、平面図形、百分率、場合の数、比と比例・反比例、文字と式、いろいろなグラフの読み取り
対 策	「数学的な考え方」「数量や図形などについての知識・理解」は課題があります。「数学への関心・意欲・態度」「数学的な技能」はやや課題があります。 中学校では、「予習して授業に臨む」学習をしています。予習をして、生徒同士で教え合いながら学びを深める授業を充実させ、生徒が主体的に取り組めるように授業の工夫をします。 今後は生徒が苦手としている分野では、さらに丁寧な授業をし、練習問題を通して理解を深めるなど、工夫をしていきます。
○理科について	
目標値に達している項目	電気の利用
課題のある項目	物の燃え方、動物のからだのつくりとはたらき、植物のつくりとはたらき、生物とかんきょう、月と太陽、大地のつくりと変化、てこのはたらき、水よう液の性質
対 策	「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」は課題があります。「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」はやや課題があります。 これから授業において、問題演習や小テスト等をこまめに行い、基礎基本の定着を図っていきます。また、実験・観察を多く取り入れ、自然事象への興味・関心を高めていくようにします。
○生活・学習習慣について	
	基本的な生活・学習習慣・自己肯定感においては、おおむね良好な回答です。多くの生徒が中学生として生活や学習にがんばっている姿が見えます。また、生徒は自分を支える周囲の大人の力をさらに必要としています。そして、家庭学習のあり方等、学習への取組を見直せば、学力向上が期待できる生徒が多いことも分かりました。 学校では、随時教育相談を行い、生徒たちのがんばりを認め、支えています。家庭でも同様に励ましながら、声かけをしていただければと思います。